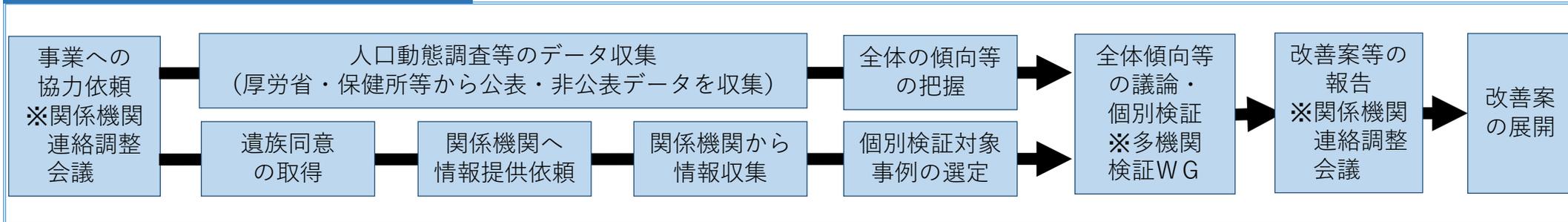


情報収集・検証の進め方

情報収集・検証のフロー図



情報収集・検証の概要

以下 2 つの視点で情報収集・検証を実施

① 都内の子供の死亡に関する全体の傾向

厚生労働省や保健所等から人口動態調査等のデータを収集し、全体の傾向等を把握

② 個別事例

協力医療機関で遺族同意が取得できた死亡事例について、関係機関から情報を収集

【協力医療機関】 都こども救命センターである次の 4 病院

東京大学医学部附属病院

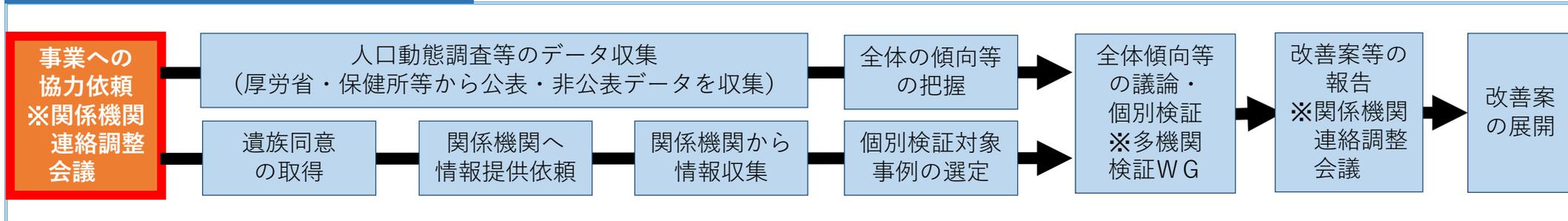
日本大学医学部附属板橋病院

国立成育医療研究センター

都立小児総合医療センター

【進め方詳細】事業への協力依頼(関係機関連絡調整会議)

情報収集・検証のフロー図



事業への協力依頼

1 概要

複数の関係機関の代表者や専門家が参加し、情報提供の依頼・検証結果の報告等を行う「関係機関連絡調整会議」を開催し、本事業への協力を依頼（本日の会議）

2 関係機関への協力依頼事項

(1) 遺族同意が取得できた事例に関する情報提供

(2) 会議への出席

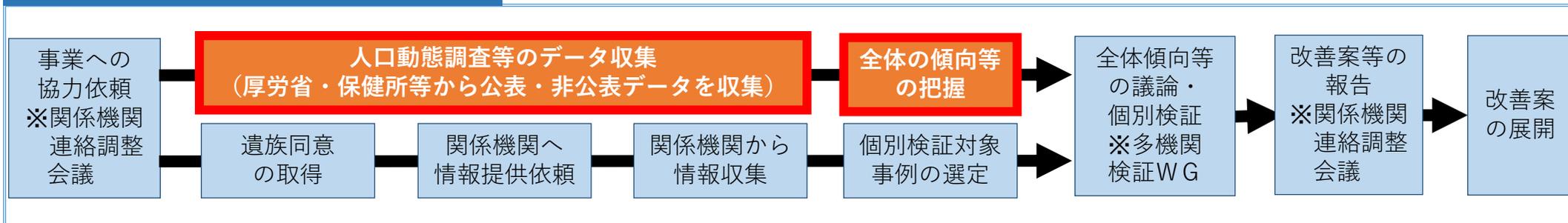
ア 今後の関係機関連絡調整会議への出席

イ 全体傾向等の議論や個別検証を行う多機関検証ワーキンググループへの出席

※詳細は資料4のとおり

【進め方詳細】人口動態調査等のデータ収集・全体の傾向等把握

情報収集・検証のフロー図



データ収集・全体の傾向等把握

1 概要

都事務局が、都内の子供の死亡に関する情報を網羅的に把握できる情報を収集し、
全体の傾向等を把握

⇒多機関検証ワーキンググループで議論

2 収集する情報

(1) 厚生労働省等から収集する情報

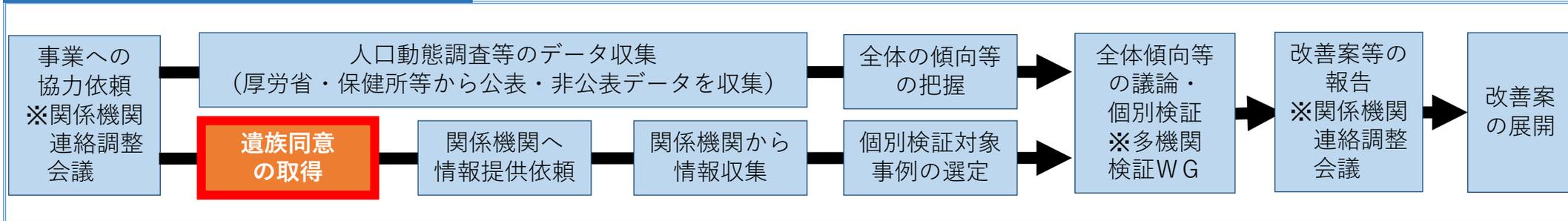
主に人口動態調査から、全国・東京都における年次別・年齢別・死因別内訳等を収集

(2) 複数の保健所から収集する情報

保健所で持つ人口動態調査の「死亡小票」の写しを収集

【進め方詳細】遺族同意の取得

情報収集・検証のフロー図



遺族同意の取得

1 概要

協力医療機関において、御遺族から子供等の情報を収集することへの同意を取得

2 令和5・6年度の対象事案

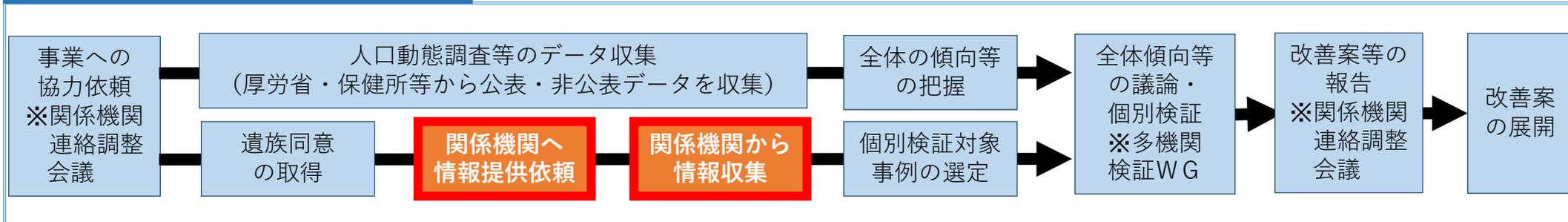
- ・ 都内在住・都内死亡事例のうち、5歳未満
- ・ 個別に予防可能性の検証を行う対象になり得る事例
※主に不慮の事故などの外因死や死因の特定が困難な不詳死

3 実施方法

- ・ 協力医療機関で、説明同意書により、御遺族に対し情報収集の同意取得を実施
※令和5年度の協力医療機関は、1ページに記載のとおり

【進め方詳細】関係機関への情報提供依頼・情報収集

情報収集・検証のフロー図



関係機関への情報提供依頼・情報収集

1 概要

協力医療機関において遺族から同意が取得できた事例について、関係機関が持つ情報を収集

2 対象となる情報

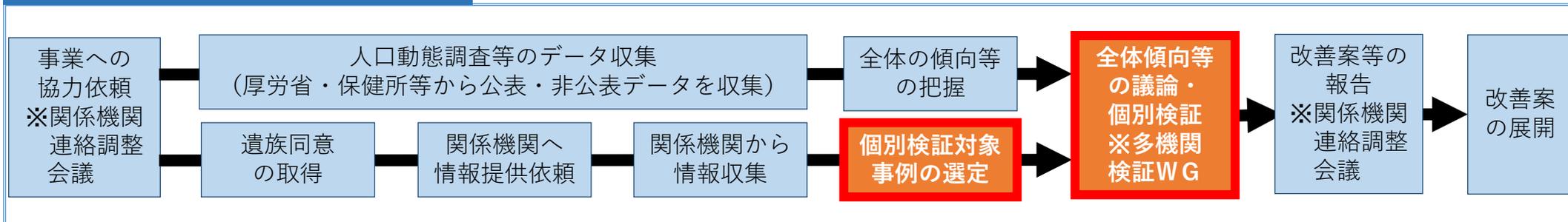
- ・ 亡くなった子供本人の情報
- ・ 亡くなった子供の遺族に関する情報（家族背景や死に至る経緯等に関する情報等）

3 実施方法

- ・ 遺族同意が取得できた事例について、関係機関に対して個別に都事務局から説明
- ・ 関係機関に対して情報提供依頼及び「死亡調査票」を都事務局から送付し、回答
※死亡調査票の記入例は、参考資料1（こども家庭庁ホームページ掲載資料）を御参照下さい

【進め方詳細】事例の選定・全体傾向等の議論・個別検証

情報収集・検証のフロー図



事例の選定・全体の傾向等議論・個別検証

1 概要

医療・警察・児童福祉等の各専門家による多機関検証ワーキンググループを開催し、都内全体の傾向等に関する議論や個別検証対象事例の選定と検証を実施
※会議及び議事・資料は非公開

2 参加予定者

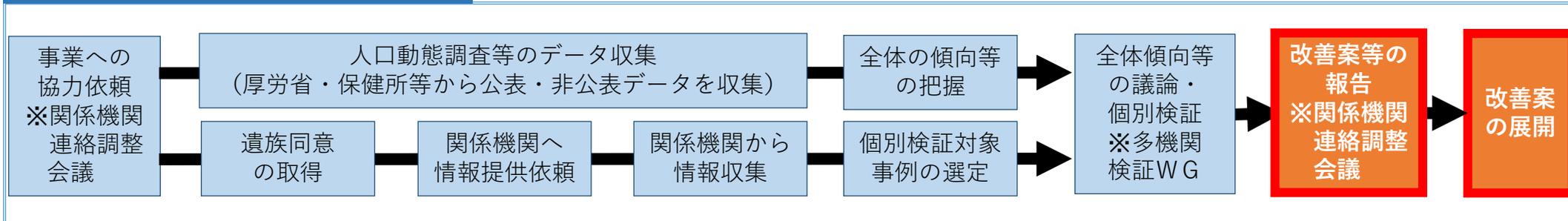
医療・警察・消防・児相・教育等関係機関実務者のほか、検証対象事例に関わりのある方（部署）の実務担当者を想定（別途依頼）

3 実施方法

- ・令和5・6年度は、都内全体の死亡の傾向等を議論
- ・個別検証対象事例の選定と個別検証は、令和6年度に実施
※予防可能性の観点に基づき都事務局が選定し、ワーキンググループで議論

【進め方詳細】改善案等の報告・展開

情報収集・検証のフロー図



改善案等の報告・展開

1 概要

- ・ 多機関検証ワーキンググループで議論した改善案を、関係機関連絡調整会議で報告
- ・ 改善案は個人が特定されない形で匿名化した上で取りまとめ、公表
- ・ 関係機関に対して改善策の実施を働きかけ、取組状況を継続的にフォロー

2 参加予定者

本会議に出席している関係機関の代表者を想定

3 実施方法

改善案等の報告と展開は令和6年度以降に実施